

World Para Athletics 公認 2022 第 27 回日本 ID 陸上競技選手権大会 (兼) パラ陸上競技記録会 開催要項 (2022. 4. 10 改定)

新型コロナウイルス感染症予防対策について

本選手権を実施する上での最重要事項です。観客の受け入れについては追って決定し、本連盟ホームページで公表します。大会開催に向けて十分な注意を払い準備しますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、競技会の開催が中止になる場合がありますので、ご了承ください

本連盟の「陸上競技活動再開のガイダンス」や今後公表する「【重要】2022第27回日本ID陸上競技選手権大会(兼)パラ陸上競技記録会へ参加するにあたって」を必ずお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願いいたします。また、今後のガイダンスの更新により、大会開催要項を変更する可能性があります

- 1. 目的** この大会では、スポーツを通じお互いを尊重し、理解しあいながら共に支え合い、又競い合うことによって障がいのある人もない人も共に輝くことを目指す。知的障がい者の陸上競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高レベルの選手による競技会を開催する。また、東京 2020 パラリンピックのレガシーとして、知的障がい者の競技スポーツへの志向意欲をより高めると共に、パラアスリートが広く社会参加への促進に資することを目的とする
- 2. 名称** WPA 公認 2022 第 27 回日本 ID 陸上競技選手権大会 (兼)パラ陸上競技記録会
- 3. 主催** 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
- 4. 共催** 一般財団法人石川陸上競技協会 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
- 5. 後援 (順不同)** 公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会
公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター
一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 全国手をつなぐ育成会連合会
全国特別支援学校知的障害教育校長会 石川県 金沢市 石川県障害者スポーツ協会
石川県特別支援学校校長会 北陸地区知的障害者福祉協会 石川県知的障害者福祉協会
ワールドマスターズゲームズ 2026 関西
- 6. 主管** 一般財団法人石川陸上競技協会
- 7. 協賛 (順不同)** ミズノ(株) AIG 損害保険(株) (株)グロリアツアーズ 大塚製薬(株) (株)ピップ 金城交通(株)
(公社)日本モーターボート選手会 北國新聞社 (株)ダイエードリームライツ (株)小山商会
けいじゅヘルスケアシステム (特非)かなざわ総合スポーツクラブ 春風クラブ 番飛
国際ソロプチミスト金沢-くろゆり (公社)金沢青年会議所 石川県障害者スポーツ協会
日本生命保険相互会社金沢支社 (特非)石川バリアフリーツアーズセンター テルメ金沢
(株)宮地組 (株)塗装館エス・エス 小松ゆるスポーツ協議会 (特非)ふれあい工房タント
(株)スパテル 北陸地区知的障害者福祉協会・石川県知的障害者福祉協会 日本電気(株)
(株)パソナ (医社)あすなろ会北山クリニック ファースト薬局 (株)フルタ建築工業
ASK 金澤(株) 石川テレビ放送(株) とくひさ薬局 タマダ(株) 石川ヤナセ(株) 金沢工業大学
ふぁみーゆツダコマ(株) コマツ ニ口経営労務マネジメントオフィス (株)生活文化社
(株)ゴーゴーカレーグループ 一般財団法人石川県予防医学協会 ムラジ建設(株)
会宝産業(株) 澁谷工業(株) (株)横山商会
- 8. 協力団体 (順不同)** 金沢文化スポーツコミッション 石川県障がい者スポーツ指導者協議会 日本航空(株)
石川県特別支援学校保健体育研究部会 公益財団法人金沢市スポーツ事業団
国際ゾンタ 26 地区エリア 3 金沢ゾンタクラブ 国際ソロプチミスト金沢-くろゆり
公益社団法人金沢青年会議所 公益社団法人石川県理学療法士会 北陸学院大学
国際医療福祉専門学校七尾校 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー (株)パソナ

9. 期 日 第1日目：2022年6月4日(土)：9時競技開始予定（18時20分終了予定）
 第2日目： 6月5日(日)：9時競技開始予定（15時50分終了予定）
 ※6月3日(金)の受付並びに公式練習等の詳細については、後日HPにて告知する

10. 会 場 石川県西部緑地公園陸上競技場
 〒920-0361 石川県金沢市袋畠町南 136 TEL 076-267-2411
 URL：<https://ishikawa-odekake.jp/westpark/facilities/athletics/>
 ■ JR金沢駅よりタクシーで約 15 分
 ■ JR金沢駅より 北鉄バス「下安原」行に乘車、「袋畠町西部緑地公園」下車後、徒歩 5 分
 北鉄バス「済生会病院」行に乘車、「西部緑地公園」にて下車

11. 参加者及び出場資格（※大会の出場選手は次の全ての条件を満たす者とする）
【知的障がいクラスの競技者（選手権クラス・チャレンジアスリートクラス）】
 ・厚生事務次官通知(昭和 49 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号)による療育手帳の交付を受けた者、
 または、公的判定機関で IQ75 以下の判定を受けた者
 ・2022 年度日本知的障がい者陸上競技連盟登録者
【ダウン症クラスの競技者】
 ・2022 年度日本知的障がい者陸上競技連盟登録者
 ・ダウン症を有し、診断書（様式 2）が提出できる者
【パラ競技者（立位）】
 ・2022 年度日本パラ陸上競技連盟登録者でスポーツクラス(立位)に実施種目がある者
 ・主催者がエントリーを取りまとめ、持ち記録を参考に、12 項により出場を認めた者
【石川県推薦の競技者】
 ・厚生事務次官通知(昭和 49 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号)による療育手帳の交付を受けた者、
 または、公的判定機関で IQ75 以下の判定を受けた者
 ・2022 年度日本知的障がい者陸上競技連盟登録者
 ・石川県から推薦があり、主催者が認めた者

12. 競技クラスおよび競技種目

知的障がい 選手権クラス	トラック	100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m(男子) 400mH(男子:84cm)、3000mSC(男子)、4×100mR、4×400mR
	フィールド	走幅跳、走高跳、三段跳(男子) 砲丸投(男子:7.26kg、女子:4.00kg) やり投(男子:800g、女子:600g) 円盤投(男子:2.00kg、女子:1.00kg) ハンマー投(男子:7.26kg、女子:4.00kg)
知的障がい チャレンジアス リートクラス	トラック	100m、200m、400m、800m、1500m、5000m
	フィールド	走幅跳
ダウン症クラス	トラック	100m
	フィールド	走幅跳 砲丸投(男子:4.00kg、女子:3.00kg) やり投(男子:600g、女子:400g)
パラ陸上競技 記録会クラス	トラック	100m、200m、400m、1500m、5000m T11、12、13、36、37、38、46、47、61、62、63、64 ※参加者数によりクラスをコンバインドして実施することがある
	フィールド	走幅跳 T11、12、13、36、37、38、46、47、61、62、63、64 砲丸投、やり投 F11、12、13、35、36、37、38、40、41、46、63、64 ①投てき物の重さは、実施種目一覧表で確認すること ②フィールド種目は3回試技とする ※参加者数によりクラスをコンバインドして実施することがある

【選手権クラス】

- (1) 参加標準記録およびターゲットナンバー(出場者数の上限)を設定する。ターゲットナンバーを超えた種目については、下記の競技会において、別紙「参加標準記録一覧表」に示す記録に達している記録上位の競技者から出場資格を与える。また、最終枠が同記録の場合は直近の大会が優先される。なお、スタートリスト発表後欠場者が出ても補充は行わない。
選手権ターゲットナンバーから漏れ、チャレンジアスリートクラスへのエントリー変更を希望する場合、エントリーフォームにその旨を入力すること
- (2) 3000mSC、5000m、10000mには制限タイムを設ける。3000mSCは13分、5000m男子は19分、女子は25分、10000mは40分とする。ラスト1周において制限タイムを超えた場合には、競走の途中であっても審判により中断することがある。記録は途中棄権とするので、この種目にエントリーする選手は、このことを十分理解してエントリーすること
- (3) リレー種目については参加標準記録を設定しない。また、個人種目でエントリーしていない選手をメンバーに入れることができる。エントリー記録にはチームでの記録もしくは目安の記録を記入すること
- (4) エントリー記録は以下を対象とする。期間は2020年4月1日からエントリー締切日までとする。
 - ① 当連盟が主催、共催、後援する大会又は記録会
 - ② WPA公認大会、エンドース大会
 - ③ 日本陸連公認大会、都道府県陸上競技協会主催大会(日本陸連HP大会情報 地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)
 - ④ 各地域での全国障害者スポーツ大会予選会(手動計時は不可)

※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)をエントリーフォームへURL添付すること。今回はURL添付での提出のみ受け付ける。URL添付の方法は、日本知的障がい者陸上競技連盟のHPに記載する

※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない

【チャレンジアスリートクラス】

- (1) 参加標準記録は設定しないが、ターゲットナンバー(出場者数の上限)を設定する。ターゲットナンバーを超えた種目については、下記の競技会において記録上位の競技者から出場資格を与える。また、最終枠が同記録の場合は直近の大会が優先される。なお、スタートリスト発表後欠場者が出ても補充は行わない。
- (2) 1500m、5000mには制限タイムを設ける。1500m男子は5分、女子は6分30秒、5000m男子は23分、女子は27分とする。ラスト1周において制限タイムを超えた場合には、競走の途中であっても審判により中断することがある。記録は、途中棄権とするので、この種目にエントリーする選手は、このことを十分理解してエントリーすること
- (3) エントリー記録は以下を対象とする。期間は2020年4月1日からエントリー締切日までとする
 - ① 当連盟が主催、共催、後援する大会又は記録会
 - ② WPA公認大会、エンドース大会
 - ③ 日本陸連公認大会、都道府県陸上競技協会主催大会
(日本陸連HP大会情報 地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)
 - ④ 各地域での全国障害者スポーツ大会予選会(手動計時は不可)

※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)をエントリーフォームへURL添付すること。今回はURL添付での提出のみ受け付ける。URL添付の方法は、日本知的障がい者陸上競技連盟のHPに記載する

※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない

 - ⑤ 都道府県が主催するスポーツ・レクリエーション大会
 - ⑥ 都道府県障がい者スポーツ協会推薦による選手

【ダウン症クラス】

- (1) ターゲットナンバー(出場者数の上限)を設定する。ターゲットナンバーを超えた種目については、エントリー時に申請された記録上位の競技者から出場資格を与える。また、最終枠が同記録の場合は直近の大会が優先される。なお、スタートリスト発表後欠場者が出ても補充は行わない
- (2) エントリー記録は以下を対象とする。期間は2020年4月1日からエントリー締切日までとする

①当連盟が主催、共催、後援する大会又は記録会

②各地域での全国障害者スポーツ大会予選会(手動計時は不可)

※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)をエントリーフォームへURL添付すること。今回はURL添付での提出のみ受け付ける。URL添付の方法は、日本知的障がい者陸上競技連盟のHPに記載する

※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない

③都道府県が主催するスポーツ・レクリエーション大会

④都道府県障がい者スポーツ協会推薦による選手

(3)投てき種目については、十分な練習を積んだ上でエントリーすることが望ましい

【パラ陸上競技記録会】

(1)ターゲットナンバー(出場者数の上限)を設定する。ターゲットナンバーを超えた種目については、エントリー時に申請された記録上位の競技者から出場資格を与える。また、最終枠が同記録の場合は直近の大会が優先される。なお、スタートリスト発表後欠場者が出ても補充は行わない

(2)エントリー記録は以下を対象とする。期間は2020年4月1日からエントリー締切日までとする

①日本パラ陸上競技連盟が主催、共催、後援する大会又は記録会

②WPA公認大会、エンドース大会

③日本陸連公認大会、都道府県陸上競技協会主催大会(日本陸連HP大会情報 地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)

④各地域での全国障害者スポーツ大会予選会(手動計時は不可)

※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)をエントリーフォームへURL添付すること。今回はURL添付での提出のみ受け付ける。URL添付の方法は、日本知的障がい者陸上競技連盟のHPに記載する

※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない

13. 今大会特別枠の設定について

●石川県推薦選手の出場について

(1)チャレンジアスリートクラスへの優先出場および4×100mR(選手権クラス)の優先出場を認める。チャレンジアスリートクラスへの優先出場は、各種目最大3名までとする。4×100mR(選手権クラス)については1チームまでとする。また別にオープンリレー(障害種不問)を1組(最大8チーム)設ける

●チャレンジファイナルについて

(1)チャレンジアスリートクラスの100m(男・女)、200m(男・女)、400m(男・女)で1位の選手には、同種目の選手権クラス決勝に出場できる権利を与える
但し、レーンについては第1レーンを使用し、選手権クラスの表彰対象にはならない。

(2)上記種目の選手権クラスにおいて、決勝に進出する最後の1枠(8位)が同順位となった場合抽選により決定する

14. 参加料について

知的障がい選手権クラス、ダウン症クラス 石川県推薦競技者 パラ陸上競技記録会クラス	1種目3,000円、2種目目以降2,000円
知的障がいチャレンジアスリートクラス	1種目につき2,000円
リレー種目	1チーム3,000円

15. 参加申し込み手順について

(1)申し込み期間

【知的障がいクラスの競技者】 【パラ競技者(立位)】 【石川県推薦競技者】

2022年4月8日(金)~5月2日(月)正午まで

【ダウン症クラスの競技者】

2022年4月8日(金)~5月9日(月)正午まで

(2) 申し込み先

【知的障がいクラスの競技者】

申し込みは、エントリーフォームにより行う
URL : <https://forms.gle/rR1waA9aFapLnmpC8>
大会事務局 E-mail jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp

【ダウン症クラスの競技者】

申し込みは、エントリーフォームにより行う
URL : <https://forms.gle/s6q22wGhMbSplZB29>
大会事務局 E-mail jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp

【パラ競技者（立位）】

申し込みは、エントリーフォームにより行う
URL : <https://forms.gle/sPj3phA9U21Q5recA>
大会事務局 E-mail jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp

【石川県推薦競技者】

申し込みは、石川県障害者スポーツ協会HPに添付されている大会参加申込書に必要事項を記入し、石川県障害者スポーツ協会へメールまたはFAXまたは郵送する
〒920-8557 石川県金沢市本多町3丁目1番10号
石川県社会福祉会館1階内
TEL : (076)264-3135 FAX : (076)264-3136
E-mail : i-sho-spo@po4.nsk.ne.jp

(3) エントリー確定の確認

- ・申し込み締め切り後(5月中旬)に、ターゲットナンバーによるエントリーリストの公表を日本知的障がい者陸上競技連盟HPで行う
- ・エントリーリスト掲載選手は、体調管理チェックシートを、同連盟HPよりダウンロードすること。アスリートビブスは当日受付で渡す
- ・競技場スタンドへの入場を希望するコーチや引率者、視覚障がい競技者のガイドランナー及びアシスタントは、エントリーの際に氏名を必ず入力すること。また、コーチや引率者、視覚障がい競技者のガイドランナー及びアシスタントも、体調管理チェックシートの提出が必要となる

(4) 参加料送金期間 : 2022年5月16日(月)~5月20日(金)まで

(5) 送金先

【知的障がいクラスの競技者・ダウン症クラスの競技者】

送金先 郵便振替 00120-1-567047
加入者名 特定非営利活動法人日本知的障害者陸上競技連盟
通信欄に、大会参加料__人分と記入すること

【パラ競技者（立位）】

送金先
株式会社ゆうちょ銀行 口座名義：シャ)ニホンパラリクジョウキョウギレンメイ
①郵便局から郵便局へ振り込む場合 : [記号] 14080 [口座番号] 55778591
②郵便局以外の金融機関から振り込む場合 : [店名] 四〇八(読み ヨンゼロハチ)
[店番] 408 [貯金種目] 普通預金 [口座番号] 5577859

【石川県推薦競技者】

送金先 郵便振替 00120-1-567047
加入者名 特定非営利活動法人日本知的障害者陸上競技連盟
通信欄に、大会参加料__人分と記入すること

・参加料は、いかなる場合でも返金しないので留意すること

16. 競技規則について

- ・ 競技会開催時における最新の World Para Athletics (WPA) 競技規則及び World Athletics (WA) 競技規則 (パラリンピック実施種目以外) 並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。ユニフォームのロゴをはじめ広告商標については、WA または WPA の広告規程を遵守すること
- ・ 靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない

17. クラス分けについて

- ・ 本競技会では、パラ競技者を対象とした一般社団法人日本パラ陸上競技連盟公認国内クラス分けは実施しない

18. ドーピング・コントロールについて

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (2) 本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で、日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす
- (3) 未成年者 (18 歳未満) については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を日本知的障がい者陸上競技連盟へ別途提出している者のみエントリーできる。同意書は日本知的障がい者陸上競技連盟・日本パラ陸上競技連盟のホームページ<医事委員会>からダウンロードできる。本同意書については一度提出した選手は、再提出の必要はない
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査 (尿・血液等検体の種類を問わず) を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること
- (5) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること

19. 表彰について

- ・ 選手権クラス及びダウン症クラスは、各種目の第 1 位に選手権章メダル、第 2 位・第 3 位にはメダルを授与し、第 8 位までを表彰する。チャレンジアスリートクラスは、各種目の最高記録選手にメダルを授与し、全選手に記録証を渡す。ただし、8 人に満たない実施種目に関しては] マイナス 1 システム (例えば 7 人のみのエントリー種目の場合は 6 位までの選手を表彰対象とする) を採用する

※本大会における表彰式の形態は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえて後日告知する

20. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法令及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会出場の資格審査、プログラム編成、記録発表、HP その他競技運営に必要な連絡等のみに使用する
- (2) 大会の映像、写真、記事、個人記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブサイト等の媒体に掲載することがある

21. 知的障がいクラスの強化選手指定について

- ・ 本大会へのエントリーは、強化指定選手指定のための条件である

※2022 年日本 ID 選手権については、新型コロナウイルス感染症からくる社会状況 (大会当日が緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等発令中の場合) を考慮し、「エントリー後に出場を回避してもよい」こととする

- ・ 本大会の成績は、国際大会派遣等に伴う選手の推薦資料の一部とする
- ・ 強化指定を希望する場合は、エントリーの際に希望の旨を入力する
- ・ 強化指定選手は、別に公表する強化選手指定基準により選考する
- ・ 本大会での記録は、今後のユース、ジュニア選手育成事業におけるの参考とする

22. ダウン症の介助について

「全国障害者スポーツ大会競技規則 陸上競技 第6条 助力」に則り、介助者による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた競技者は失格とする

＜競技規則の解説 陸上競技 第 5 節 介護者の役割 一部抜粋＞

「スポーツへの参加を通じた社会参加の推進という目的を踏まえ、原則として競技者自身が一人で行動できるように指導・助言頂いているところである。介助者は、衣服の脱着や移動等において競技者が困難を要する事柄に限り介助する事ができる」

障害の種類や程度等の理由により介助者による補助や指示がどうしても必要な競技者については、上記内容を理解した上で、申し込み時にリクエスト申請用紙を記入し提出すること。または競技会当日TICに申請用紙を提出し主催者の許可を受けること。受理された場合は、主催者側で用意したビブスを着用し、介助にあたることことができる。その際、競技エリアでは、競技役員の指示に従うこと

23. 競技エリアへの入退場について

受付で検温を受け、体調管理チェックシートの提出を終えた競技者、コーチ、引率者、視覚障がい競技者のガイドランナー及びアシスタントは、リストバンドを受け取る（エントリーの際、氏名の登録が必要）。装着が確認できない場合は、競技場スタンド並びに補助競技場への立ち入りは認められないので、常に装着すること。また、アクセス区分を設けるため、競技者には「選手ID」、競技者1名につき1枚の「コーチID」を、ガイドランナーとアシスタントには「ガイド・アシスタントID」を支給する。競技場並びに補助競技場においては、競技役員の指示に従うこと

24. その他

- (1) IPCライセンス登録および国際クラス分けステータスのある選手の記録は、WPA公認記録となる。
ただし、すべての選手を対象に日本記録は公認される
- (2) プログラムとアスリートビブス、参加賞は、陸上競技場正面選手受付にて配付する
- (3) 招集時刻に遅れた競技者は出場できない
- (4) 申し込み後の参加種目の変更は、一切受け付けない
- (5) 複数の種目にエントリーをする競技者は、競技運営の関係で競技時間の近接や、同じ時間になる場合があることを理解してエントリーすること。競技種目が重なり、一方の種目の招集時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所に集合すること。その際、当該種目の競技役員にその旨を伝え、指示に従うこと
- (6) 今大会では大会の権威と運営の円滑を期するため、欠場については国際規則を適用し、極力避けること。やむを得ず欠場する場合は、欠場届(TICに用意)に必要な事項を記入し、出場する競技の招集時刻までにTICへ提出すること
- (7) リレーのオーダー用紙は招集所にて受け取り、第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること
- (8) スターティングブロックのセッティングや走幅跳、走高跳の助走のマーキングについて、競技者が実施できない場合は、「補助申請書(スターティングブロック設置申請、マーカー設置申請等)」を招集所へ提出する。設置については、競技役員が行う
- (9) 不正スタートについては、1回目で失格となることを選手は十分理解しておくこと
- (10) 今大会はスタート・インフォメーション・システム(SIS)を使用しないため、スターティング・ブロックの使用が必須のクラスにおいては、WR(世界記録)・AR(アジア記録)が認められない。ただし、WPAランキングの対象にはなる
- (11) 投てき競技に参加する競技者で、すべり止め(炭酸マグネシウム等)が必要な場合は、各自で用意すること(感染症予防対策のため、共用のすべり止めは準備しない)
- (12) 健康や安全管理については、引率者の責任において十分配慮し、事故の無いよう心がけること
特に次の点には十分に注意すること
ア 事前に参加者に健康診断を受けさせるなど、大会参加に支障がないか確認しておくこと
イ 大会当日、参加者の体調が競技の参加に問題がないか再度確認すること
ウ 競技開始前の準備体操を各チーム責任で入念に行うこと
エ 傷害保険には主催者側で加入する
補償内容：死亡・後遺障害2,000,000円 入院1日3,000円 通院1回2,000円
オ 大会中に生じたケガ等の応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は一切負わない

(13) 正式な競技日程等大会に関する詳細は日本知的障がい者陸上競技連盟HPにて公表する
エントリーの誤り等、不備があった場合は、下記事務局へメールで連絡すること

2022日本ID陸上競技選手権大会事務局

携帯 080-4429-1672 E-mail jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp
〒289-1313 千葉県山武市上横地 268-10 <http://www.jidaf.org/>

